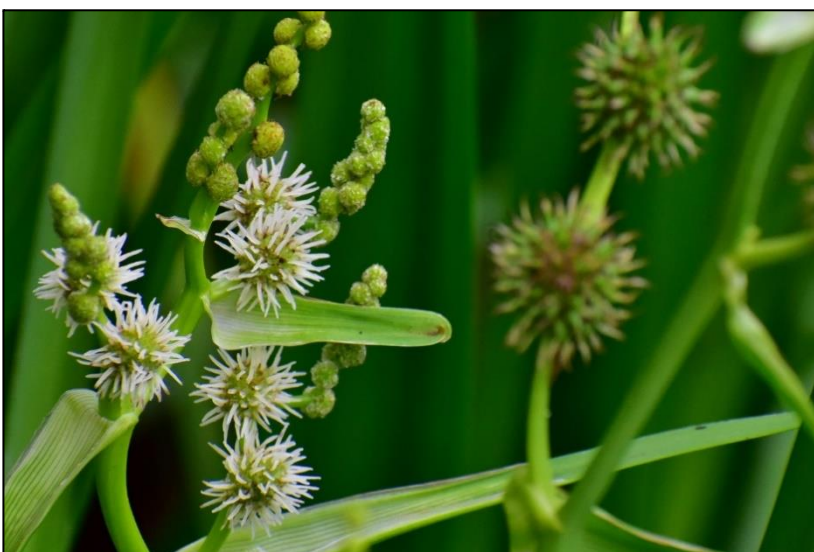




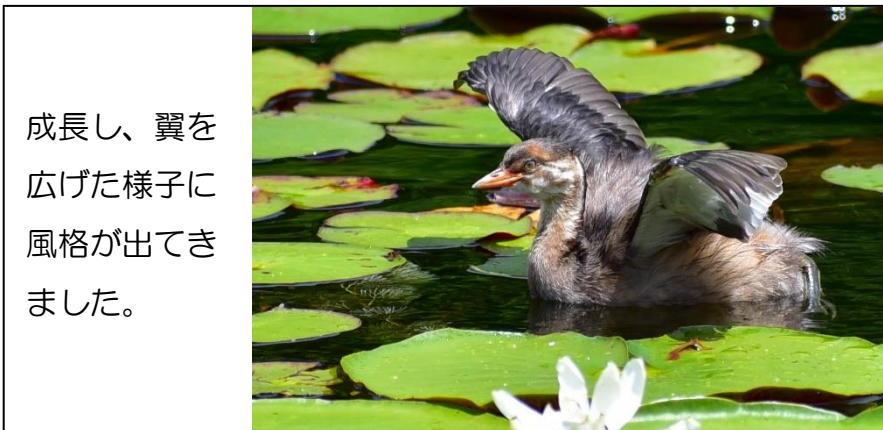
ヒナキキョウソウ  
(キキョウ科)  
北米原産の帰化植物で、  
1年生の草本です。



ヤマモモの実 (ヤマモモ科)  
実が熟し始めました。



沼や緩やかな流れで生育し、栗を思わせる果実ができるので、「実栗(みくり)」と呼ばれています。



成長したカイツブリの幼鳥 (カイツブリ科)



ネムノキ (マメ科)  
赤い特徴的な花が咲き  
始めました。夜になると  
葉を閉じます。



ボダイジュ (アオイ科)  
淡黄色の花をたくさんつけま  
す。釈迦が悟りを開いた菩提樹  
は、クワ科のインドボダイジュ  
で別の樹木です。



タイサンボク (モクレン科)  
花が大きくて美しく、一つの花の花期は短いけれども、  
長期間にわたって次々と花が咲き続きます。



オカトラノオ (サクラソウ科)  
白い花が、莖に近いところから先端に向かって順に  
咲いていきます。



コシアキトンボ (トンボ科)  
腹部が白く、空いている様  
なので、こう呼ばれます。

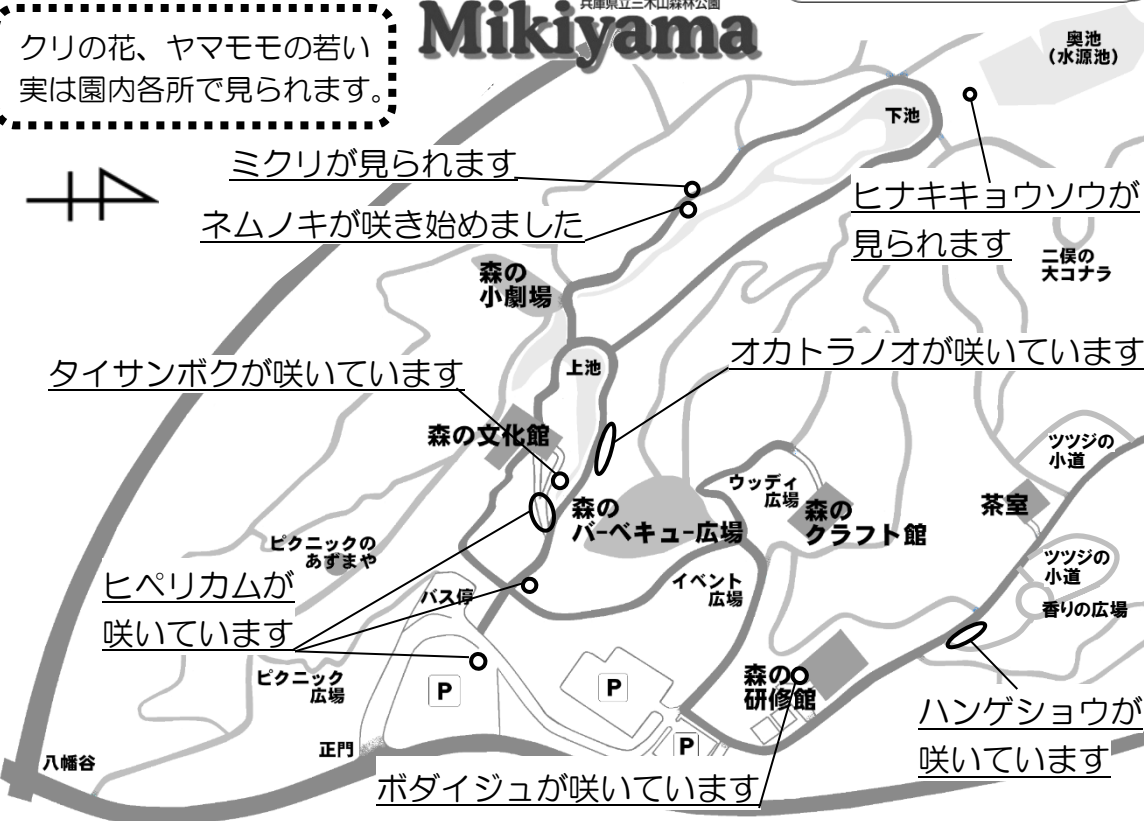


ネキトンボ  
(トンボ科)

令和3年6月下旬

# みどころ Mikiyama

三木山森林公園 検索  
カラー写真入りの「みどころ情報」を  
HPにて掲載しています



クリの花 (フナ科)  
クリの花が満開です。



ハンゲショウ (ドクダミ科)  
湿地で生育し、葉の表面が白く  
変化します。



ヒペリカム (オトギリソウ科)  
三木山には、これら2種類のヒペリカムが植栽されています。



カリシナム

ムクドリ  
(ムクドリ科)  
都会では糞害や騒音被害が  
取り上げられますが、害虫を  
食べてくれる益鳥でもあります。

